

新しい年を迎えてから、早くも10日余が過ぎようとしていますが、お正月に決意した自分の夢や目標を実現するための活動は、順調に進めることができているですか。

それから、学校生活(授業、係活動、委員会活動など)や家庭生活(お手伝い、家庭学習など)で、今、やるべきことの一つひとつに真剣に取り組んでいますか。取り組めていますか。

自分の10日間を振り返って見てください。

せっかく新たな気持ちで、「今年こそは」と心に決めたことなのですから、「必ずやり抜く」という強い気持ちをここでもう一度奮い立たせてください。

さて、皆さんは「發氣用意(はっきようい)」、この言葉を見たことがありますか。

これは、皆さんもよく知っていることとありますが、日本の国技である「相撲」の行司さんが、取り組み中の力士に「ハッキョーイ」とかけているあの言葉です。

不発氣 不生力 「氣を發せざれば 力生ぜず」
不用意 不成技 「意を用いざれば 技成らず」

これは「満身の氣力を出さないと自分の力を發揮できない。それと同時に心や頭を使わないと技は上達しない。」だから、「体じゅうの氣力を出して、よく考えて工夫して勝負しなさい。」

これが「發氣用意」という言葉の意味です。

もともと、「發氣揚々」(はっきようよう)……「氣力を高めて全力で勝負しよう」という意味だったそうですが、永い歴史の中で先人たちによって考えられてきたのが、「發氣用意」だといわれています。

「氣力を出して、よく考えて工夫して勝負しなさい」は、勝負するときのことだけでなく、他のことにも通ずるものだと思います。

スポーツをする時はもちろん、勉強する時、また、将来仕事をする時にも「よーし、やるぞ！」と氣力を充実させ、「計画や作戦」をしっかりと考えて実践する。

皆さんの夢や目標の実現に向けて、また、今、やるべきことの一つひとつに「發氣用意」で取り組みましょう

必ずやり抜くという強い意志と行動力を、ここでもう一度、奮い立たせてください。

日々の地道な積み重ねこそが、目標達成への近道です。

頭を働かせ、体を使って、心をこめて、一日一日の挑戦を大切に頑張っていきましょう。

令和5年 1月 11日 学校長 笠原利幸